

技術的条件集別表 15

相互接続用共通インタフェース仕様

技術的条件集別表 15 (相互接続用共通インタフェース仕様) の記述に関する留意事項

1. 本別表は、以下に示す T T C 標準をベースドキュメントとし参照している。

本別表の標準番号	T T C 標準の標準番号及び版数 (制定月日)
N T T - 9 0 . 1 0	J J - 9 0 . 1 0 第 7 . 1 版 (2 0 0 6 年 9 月 5 日)

2. 本別表では、T T C 標準の規定と当社の規定に差分がある場合についてのみ、その具体的内容を記述している。以下に T T C 標準の規定に準拠した事項及び、T T C 標準の規定との間に差分がある事項の表記方法を示す。

- 1) 当社の規定が T T C 標準の規定に準拠している事項

【 J J - * * * * に準拠する 】

- 2) 当社では規定していないが、T T C 標準では規定している事項

【 J J - * * * * では を規定している 】

~ T T C 標準規定の記述 ~

- 3) 当社で規定しているが、T T C 標準では規定していない事項

~ 当社規定の記述 ~

【 J J - * * * * では を規定していない 】

- 4) 当社の規定と T T C 標準の規定が異なる事項

~ 当社規定の記述 ~

【 J J - * * * * では の規定が異なる 】

- 5) T T C 標準では規定しているが、当社網、直接協定事業者網間では使用、あるいは適用しない事項

【 規定しない 】

3. 本別表で用いられる用語・語句の意味は、T T C 標準の内容に準拠している。

4. 本別表のセクション番号は、T T C 標準のセクション番号に対応している。

5. 本別表は形態、分類にまたがる共通的な事項について記述しており、各形態、分類に閉じて特記する必要がある事項についてはその旨を技術的条件集本文中に記述している。

1. 概説【JJ-90.10に準拠する】

2. 接続形態【JJ-90.10に準拠する】

3. 番号方式

- (1) 国際呼、国内中継呼のダイヤル番号【JJ-90.10に準拠する】
- (2) 移動体接続呼のダイヤル番号【JJ-90.10に準拠する】
- (3) PHS接続呼のダイヤル番号【JJ-90.10に準拠する】
- (4) 料金を発信側が負担する無線呼び出し(以下「ポケベル」という)のダイヤル番号【JJ-90.10に準拠する】
- (5) 非設置中継 事業者接続呼のダイヤル番号

0091 + N₁N₂ + 接続番号 または 接続番号

0091 : 非設置中継 事業者接続識別番号

N₁N₂ : 事業者識別コード

接続番号 : 国際番号(注)、国内番号等

(注) 国際プレフィックス(010)が含まれることがある。

【JJ-90.10では の規定が異なる】

- (6) 固定電話及びIP電話(カテゴリA)(0A~J)接続呼のダイヤル番号

【JJ-90.10に準拠する】

- (7) IP電話(カテゴリB)接続呼のダイヤル番号【JJ-90.10に準拠する】

4. 信号方式

4.1 接続事業者網間の信号方式【JJ-90.10に準拠する】

4.2 MTP仕様

MTP仕様は 技術的条件集別表3に示すとおりとする。

【JJ-90.10では の規定が異なる】

4.3 ISUP仕様

ISUP仕様は 技術的条件集別表4に示すとおりとする。

【JJ-90.10では の規定が異なる】

本標準で規定するISDNユーザ部のメッセージとコードは、NTT-Q763をベースドキュメントとして、ISUP仕様互換表(表4-1/NTT-90.10参照)に示す。ただし、表4-1/NTT-90.10には、表4-1/JJ-90.10からの追加分及び変更分のみを示す。付加サービスを提供するISDNユーザ部のプロトコル要素については、JT-Q73Xシリーズを参照する。

【JJ-90.10では の規定が異なる】

表4-1/NTT-90.10 ISUP仕様互換表

NTT-Q763の参照節		接続事業者網間仕様	備考
項番	項目		
3.37	オプション逆方向呼表示		
	A:インバンド情報表示	“0,1”を使用する	ACM、CPGでは、“0,1”を使用する、ANMでは、“0”を使用する
	C:簡易分割表示	“0,1”を使用する	ACM、CPGでは、“0,1”を使用する、ANMでは、“1”を使用する
3.70	相関id	技術的条件集別表4に示すとおり	

3.71	SCFid		
3.73	着IN番号		
3.114	事業者情報転送		
	j)SCP事業者情報	技術的条件集別表4に示すとおり	
	k)移転元SCP事業者情報		着信課金サービス番号ポータビリティ接続機能への接続時に設定
3.87	第一着IN番号		
3.117	緊急通報呼表示	技術的条件集別表4に示すとおり	緊急通報接続時においてIAMに設定
表4-29	SGM	「メッセージ種別」「アクセス転送」「ユーザ・ユーザ情報」「汎用番号」「オプションマーク終了表示」を使用する	分割元信号がIAMの場合は、アクセス転送、汎用番号、ユーザ・ユーザ情報を使用します。ACM、CPG、ANMの場合はアクセス転送、ユーザ・ユーザ情報を使用します。

【JJ-90.10では の規定が異なる】

当社は当社発信呼のIAMに含まれるユーザ・ユーザ情報の送達確認方法を技術的条件集別表4補足資料6または付属資料cのとおりとする。ただし、ユーザ・ユーザ表示パラメータのHビット(網放棄表示)に"1"を使用されても送達確認を行う。当社は当社発信呼のIAMにのみ付加ユーザ種別パラメータを設定する。当社は付加ユーザ種別パラメータの移動系付加ユーザ種別2に"00000111","00001001"を使用しない。当社はIAMに相関id、SCFid、着IN番号、第一着IN番号パラメータを設定する場合がある。当社はCPG及びANMにオプション逆方向呼表示パラメータを設定する場合がある。当社はANMに付加ユーザ種別パラメータを設定する場合がある。当社から発側網に対し、逆方向呼表示、事業者情報転送パラメータのみが設定されたACMを返送する場合がある。この場合事業者情報転送パラメータにはSCP事業者情報が設定される。

【JJ-90.10では を規定していない】

4.3.1 規定外信号の扱い【JJ-90.10に準拠する】

4.3.2 主な転送情報【JJ-90.10に準拠する】

5. 接続条件【JJ-90.10に準拠する】

6. 接続シーケンス

6.1 基本的な考え方

- (1) 発側網と着側網間の接続シーケンスを規定する。
- (2) 端末と網間シーケンスは、網間シーケンスの解釈を補助するものとして点線で記載する。
- (3) 不完了及び準正常シーケンスは様々なパターンが存在するため、一部の例を記載する。
- (4) 端末種別は、アナログ端末、ISDN(デジタル)端末とする。なお、有線による端末及び無線による携帯・自動車端末、PHS端末等を対象とする。
- (5) 接続シーケンス中に示すタイム値は NTT-Q764 を参照する。
- (6) 記載を簡略化するため、接続シーケンスでは、信号分割転送機能に関する記載を省略する。

【JJ-90.10では の規定が異なる】

6.2 各種接続シーケンス

一般的な接続シーケンスを 表6-1 / NTT-90.10 に示す。

【JJ-90.10では の規定が異なる】

表6-1 / NTT-90.10 各種接続シーケンス

【JJ-90.10に準拠する】

シーケンス No.1~8 : 当社網は発側及び着側の網共に対象

No.9~22 : 当社網は発側及び着側の網共に対象

ただし、当社が着側として動作するのは当社網が中継する場合のみ

No.23 : 当社網は発側網及び番号管理網共に対象

【JJ-90.10では を規定していない】

7. 課金方式【JJ-90.10に準拠する】

付録A

1. 基本的考え方【JJ-90.10に準拠する】

2. 試験の種類【JJ-90.10に準拠する】

3. 手動接続試験の網間番号構成

(1) 固定電話番号及びIP電話(カテゴリA)番号による試験【JJ-90.10に準拠する】

(2) 事業者選択番号による試験【JJ-90.10に準拠する】

(3) 移動体・PHS・ポケベルサービス識別番号による試験【JJ-90.10に準拠する】

(4) 非設置中継 事業者接続番号による試験

非設置中継 事業者識別番号を保有する事業者交換機との試験は原則として以下の番号で行う。

0091 + N₁N₂ + Y₁Y₂ + 1

N₁N₂ : 事業者識別コード(事業者単位に一つ必要)

Y₁Y₂ : 任意の2桁、但しY₁は0以外(例:81、99等)

【JJ-90.10では の規定が異なる】

(5) IP電話(カテゴリB)サービス識別番号による試験【JJ-90.10に準拠する】

4. 網間試験の信号シーケンス【JJ-90.10に準拠する】

付録B【JJ-90.10に準拠する】

付録C

1. 端末への応答信号

相互接続用共通インタフェースで接続されている着信事業者への接続において、着信側の端末設備等が送出する端末応答信号を受信したとき、発信側の端末設備等に対して、応答信号(発アナログ端末の場合は、信号極性を反転することにより送出する監視信号)を常に返送する。

ただし、公衆電話、ピンク電話発信時に着信側の端末設備等から非課金の端末応答信号を受信した場合は発信端末に対して応答信号を送出しない。

【JJ-90.10では を規定していない】

付録D【JJ-90.10に準拠する】

付録E【JJ-90.10に準拠する】